

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	富士松市民センター	
款	項	目					担当係		
10	5	9							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（富士松市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。				主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、施設修理、各種設備機器の日常・定期点検を実施して、施設の適正な維持・保守管理を行う。		
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
	対象者	市民			事業期間	昭和59年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績	23年度実績		24年度実績		25年度計画		
			富士松公民館利用者数 26,483人 施設利用率 35.0%		富士松公民館利用者数 25,548人 施設利用率 34.3%		富士松公民館利用者数 22,306人 施設利用率 33.0%		富士松公民館利用者数 22,500人 施設利用率 34.0%
成果 (できたこと)			身近な学習施設である富士松市民センターで、公民館利用者が気楽に利用できるよう努めた。						
課題 (できなかったこと)			施設利用者、施設利用率とも年々減少している。市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、施設利用者を増やす対策が必要となる。						
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
		成果指標	富士松公民館年間利用者数（人）	26,483	25,548	22,306	22,500	23,000	
成果指標		施設利用率（%）	35	34.3	33	34	36		
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（予算）	24年度事業費内訳		
	事業費 ①	10,984	10,545	10,649	13,206	合計	10,648,805 円		
	財源	特定財源	1,390	1,421	1,259	1,501	需用費	4,288,606 円	
		一般財源	9,594	9,124	9,390	11,705	役務費	209,482 円	
	職員人件費 ②	3,624	4,307	4,952	6,632	委託料	6,097,798 円		
	総事業費（①+②）	14,608	14,852	15,601	19,838	使用料及び賃借料	52,919 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0	24年度特定財源名称					
		24年度迄の累積事業費	0	市民センター使用料 行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設補修事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	富士松市民センター	
款	項	目					担当係		
10	5	9							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設寿命の長期化を図る。			主たる内容	施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設寿命の長期化を図るための計画的な施設補修、施設改修を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法						
		対象者	市民			事業期間	昭和59年度～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・屋根防水改修工事 ・パラペット等防水改修工事 ・自家発電機修繕工事 ・大集会室照明器具取替工事 ・廊下非常灯修繕		・電気設備改修工事 ・エレベーター改修工事 ・給水ポンプ等改修工事 ・非常灯取替工事 ・トランス・コンデンサ移設工事					
成果 (できたこと)		改修によって施設寿命の長期化が図られた。							
課題 (できなかったこと)		施設の経年劣化により、補修箇所が増加している。計画的に補修を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
指標									
指標									
他市との 比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	7,999	15,785	0	合計	15,784,650 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	15,784,650 円	
		一般財源	0	7,999	15,785	0			
	職員人件費 ②		0	1,077	1,415	0			
	総事業費 (①+②)		0	9,076	17,200	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	24年度特定財源名称				
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設事業				担当部		生涯学習部	
一般会計							担当課		富士松市民センター	
款	項	目					担当係			
10	5	9								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。				主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3ヶ月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者は、10人～20人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に触れることができる場を設ける。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
		対象者								
	実施方法									
	事業期間									
	関係法令									
事業内容										
事業効果										
事業評価										

BDO 事業実績 計画 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
	市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 124人		市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 157人		市民講座開設数 8講座 市民講座受講者数 131人		市民講座開設予定数 6講座 市民講座受講者予定数 115人	
	成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。					
	課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。					
	指標名称（単位）		実績値			目標値		
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
	成果 指標	市民講座受講者数（人）	124	157	131	115	120	
	指標							
	他市との 比較検証		近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。					
	C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳
事業費 ①		482	645	690	579	合計 690,332 円		
財 源		特定財源	103	127	107	95	報償費 588,000 円	
		一般財源	379	518	583	484	需用費 77,332 円 役務費 25,000 円	
職員人件費 ②		2,899	3,230	3,183	3,316			
総事業費 (①+②)		3,381	3,875	3,873	3,895			
建設 事業		全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称		
		24年度迄の累積事業費		0		講座受講料		
		26年度以降の事業費見込		0				

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					担当係			
10	5	9								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	富士松市民センター利用団体の学習意欲の向上と利用団体間の交流、地域住民との親睦を図る。				主たる内容	富士松市民センターにおいて、年1回、利用団体による学習成果の展示会・芸能発表会、お茶会を行う。			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法							
		対象者	富士松市民センター利用団体及び地域住民		事業期間		平成2年度～			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		2月20日（日）開催 参加団体数 23団体 参加者数 225人 入場者数 348人		2月19日（日）開催 参加団体数 21団体 参加者数 213人 入場者数 385人		2月17日（日）開催 参加団体数 24団体 参加者数 241人 入場者数 300人		2月下旬開催予定 参加予定団体数 25団体 参加者予定数 250人 入場者予定数 350人		
成果 （できたこと）		参加者の学習意欲の向上が図られ、新たな学習課題の発見につながった。 参加団体間の交流が図られた。 参加者と地域住民の交流や親睦が深められた。								
課題 （できなかったこと）		参加団体数、参加者数は前年より増えたが、入場者数が前年実績を下回った。 参加団体数、参加者数、入場者数とも、拡大する方策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標		参加団体数（団体）			23	21	24	25	26	
成果 指標		来館者数【参加者数＋入場者数】 （人）			573	598	541	600	650	
他市との 比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 （決算）	23年度 （決算）	24年度 （決算）	25年度 （予算）	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		320	320	320	348	合計	320,000 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	320	320	320	348				
	職員人件費 ②		1,450	1,436	1,768	1,842				
	総事業費（①＋②）		1,770	1,756	2,088	2,190				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
		24年度迄の累積事業費		0						
26年度以降の事業費見込		0								